

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災を想定した避難訓練や職員への消火訓練は実施していたが、入居者を含めた訓練は行っていない。	入居者ひとりひとりの避難誘導の仕方を職員全員が把握実行できる。	①実際に入居者を避難訓練に参加させる。 ②ひとりひとりの特質に合わせた声かけや誘導の仕方を話し合う。	3ヶ月
2	4	運営推進委員会議での協力体制を整える事や地域資源の活用及び交流の機会が出来ていない。	災害時における地域の協力体制を整える。	①運営推進委員会議で提案し検討する。 ②地域へ協力をお願いしに行く。 ③避難訓練への参加、協力して頂く。	6ヶ月
3	40	食事形態がグループホームと特養の差別化が出来ていない。又ひとりひとりの好みの把握や提供が出来ていない。	楽しみを持てる食事等提供の提案をする。	①好物調査をする。 ②外食に行けるような環境整備する。 ③ユニット内での調理(1回/月)提案検討する。	6ヶ月
4	49	外出や散歩の支援の機会が少ない。又ひとりひとりの希望に沿った外出支援は出来ていない。	外出行事年間計画を立てる。	①ユニット会議での話し合い協力体制を整える。 ②日々の生活の中に外出時間を入れて1日1～2名を外出支援して週に1回は外出できるように業務を整備する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。